

天満宮神社の眺め

この部屋から男山の丘にある姫路城の向かい側に天満宮神社がはっきりと見ることができる。千姫(1597－1666)の指示で 1623 年に建てられ、天満宮は神道の神で、学問と知識を後援する天神を祀っている。その神社の建設の前、千姫は城の敷地にあるより小さな神棚で天神を拝んでいたと言われている。そこで本多一族のためと彼女の最初の夫豊臣秀頼(1593－1615)の魂を鎮めるために祈りを捧げていた。

回廊と結ばれている展示には「羽子板」つまり飾りの絹で覆われた木製の試合用の櫓である。この羽子板は千姫によって天満宮に寄付されたものと言われている。